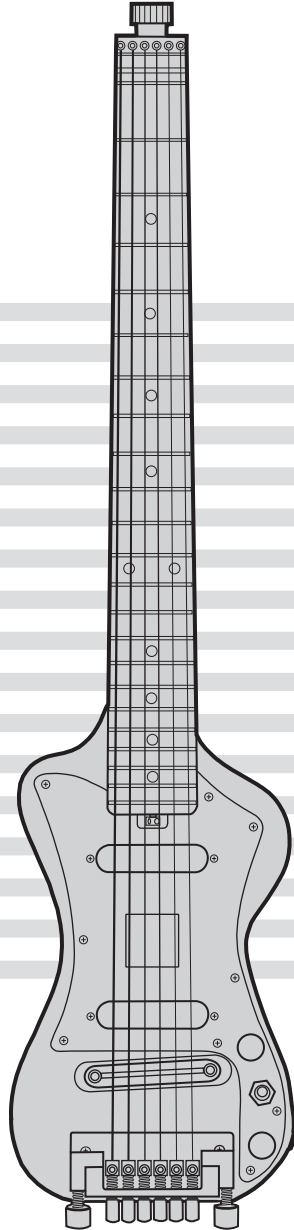
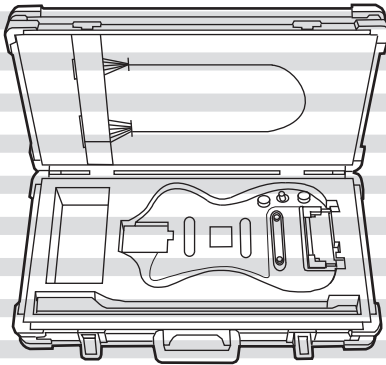
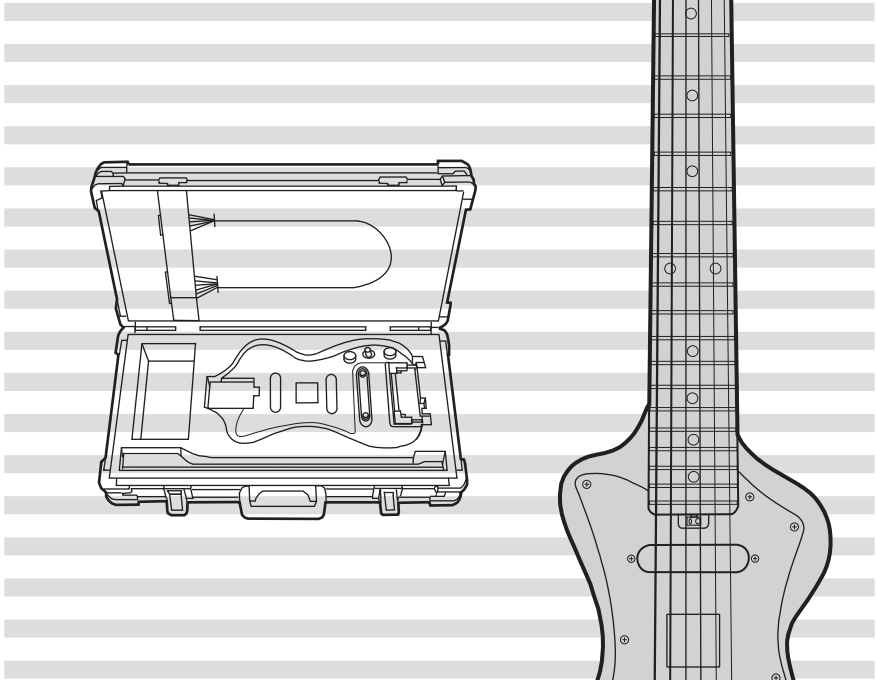




3 Divided Portable Electric Guitar

SGT-3DPEG

Owner's Manual



SG Technologies, Inc.

Contents

1	使用上のご注意	1
2	保管、メンテナンス	1
3	ギターと付属品の確認	2
4	ギターの各部名称	3
5	ギターの組み立て	4
6	チューニング	5
7	弦ユニット、ネック、ボディの分離の仕方	6
8	弦交換の方法	7
9	ギターの各部調整方法	9
10	製品仕様	10 (裏表紙)
11	オーダー NO.	10 (裏表紙)

1 使用上のご注意

1-1. 改造・修理について

ギターの改造・修理は故障の原因となり、また感電の恐れもありますのでご注意ください。弊社以外での改造・修理は、たとえ部分的でありましてもギター全体が保証対象外となる場合がありますのでご注意ください。

1-2. ヘッド側の弦による怪我に注意

ヘッドに巻きつけた弦がカットされた後、適切な処理をされていない場合（例えば弦が長めにカットされ飛び出ているなど）、指に弦を刺すことがありますので取り扱い時には十分ご注意ください。

1-3. フレットのエッジによる怪我に注意

出荷時は、フレットのエッジを十分研磨してありますが、ネックのそりや乾燥状況によりフレットのエッジがはみ出る場合がありますので、怪我にご注意ください。

1-4. ギターの着脱は手順どおりに

特にネックとボディを連結している大型ボルト2本が、しっかり締まっている（組み立ての場合）ことを確認し、弦ユニットを装着してください。しっかり、締まっていない場合、弦ユニットによって怪我をする場合があります。

1-5. 推奨の弦は09-42

本ギターは出荷時に09-42弦がセットされています。最大10-46程度まで使用可能ですが、それ以上太い弦は使用しないでください。故障の原因となります。

1-6. 湿気の多い場所での使用は避けてください

雨の日の屋外や風呂場での使用は行わないでください。ギターに使用されている精密金属パーツの狂いや、ギターアンプが故障していた場合、シールド線により感電する場合があります。

2 保管・メンテナンスについて

2-1. ギター全体について

ギターを持ち運ぶ以外は3分割せず、組みあがったままの状態にして置いてください。弦も緩める必要はありません（長期間使用しない場合は、弦を多少緩めてください）。使用しないときは、普段、付属のカバーに入れておきましょう。ギターの清掃は市販のギターケア用品、例えばシリコンクロスなどで清掃してください。

尚、ネックとボディのジョイント部は、夏季と冬季では、膨張や縮小しますので、ネックが多少ボディにはまりにくくなる場合があります。

（普段の保管は、湿度30～50%、温度20～30度程度が望ましいです）

2-2. 精密金属部分について

マスターノブとファインチューニングノブには、ボルト部分に少量のグリスが塗布されています。経年変化でグリスが消耗しノブを回すときつい場合は、市販のグリスを少量、オスねじ側に塗布してください。

また、このノブ部分には、回転をスムーズにするため、特殊なワッシャーが使用されています(テフロンワッシャーをジュラコンワッシャーでサンドイッチしたもの)。もし、破損、磨耗等がありましたら弊社までご連絡ください。ワッシャーをお送りいたします。

3 ギターと付属品の確認

3-1. オーダーNO. SGT-3DPEG 01CH/CS (ハードケース付セット)

- SGT-3DPEG 専用ハードケース 1
- SGT-3DPEG ギターボディ 1
- SGT-3DPEG ギターネック 1
- SGT-3DPEG 弦ユニット 1
- SGT-3DPEG 専用カバー 1
- SGT-3DPEG 専用ストラップ 1
- 六角レンチ (M3) 1
- スポークホイールナット用 レンチ 1
- SGT-3DPEG オーナーズマニュアル 1
- 保証書 1

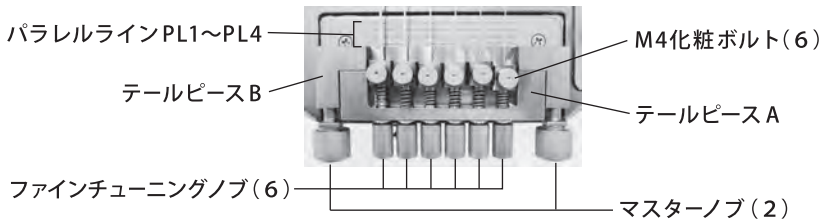
3-2. オーダーNO. SGT-3DPEG 01NH/NS (ハードケース無セット)

- SGT-3DPEG 装着済み品 1
- SGT-3DPEG 専用カバー 1
- SGT-3DPEG 専用ストラップ 1
- 六角レンチ (M3) 1
- スポークホイールナット用 レンチ 1
- SGT-3DPEG オーナーズマニュアル 1
- 保証書 1

4 ギター各部の名称



デタッチャブルチューナー



* パラレルライン (PL) は、弦ユニットの着脱や弦交換時に目安とするテールピースBの位置決めラインで4本あります。上から順に PL1, PL2, PL3, PL4 とします。

PL2は弦ユニットの着脱、PL3は弦交換、PL4はプレイ可能位置です。PL1は使用しません。

5 ギターの組み立て

(ハードケース付で購入の場合、または既に3分離してあるギターを組み立てる場合)

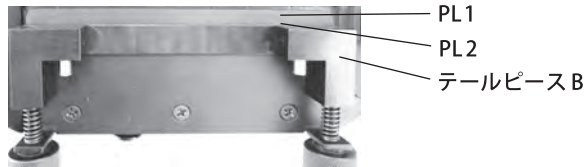
- 5-1. ボディとネックを取り出し、ボディの所定の位置にネックを装着し、ネックジョイントノブ(2本)でしっかり取付ける。この時、無理に力を入れる必要はなく、通常の大人が目いっぱい回せる程度で充分です。



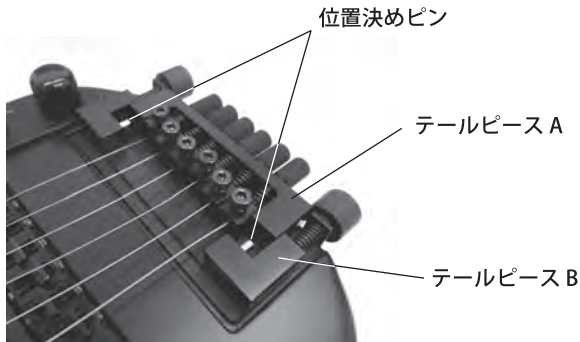
ネックが取り付けたらギターをテーブルの上などに正面を上にし、置きます。



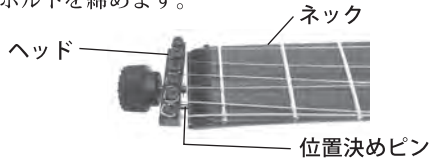
- 5-2. マスターノブを回し、パラレルライン (PL) を見ながら、フロント側から2番目のライン (PL2) にテールピースBを合わせます。



- 5-3. 弦ユニットのテールピースAをテールピースBの位置決めピン2本に合わせながら装着します。



- 5-4. ヘッドをネックに取付けますが、この場合もヘッド側にある位置決めピンとボルトを所定の位置に合わせボルトを締めます。



- 5-5. 1弦から6弦までをブリッジやナットの所定の位置に合わせます。これで装着は完了です。



6 チューニング

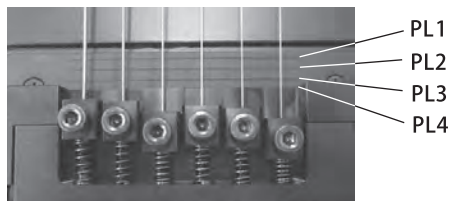
ケーブル接続タイプのギター用チューナーをギターに接続しボリュームポッドを最大にして下さい。

(ボディの振動を拾うタイプのチューナーは取り付け難いため、正確なチューニングが出来ない場合があります)



★ チューニングは5弦→4弦→3弦→2弦→1弦→6弦の順に行います。

- 6-1. 5弦のAから音を合わせます。現在、テールピースは平行ライン2番目 (PL2) の位置にあります但しマスターノブを回しながら、平行に後方(PL4側)に移動します(この時マスターノブ2個を両手で同じくらい回すのがベターですが、片手で交互に行う場合は、1回に回す回数は2~3回ぐらいを交互に行いPLに平行になるよう注意を払いながら回してください)。

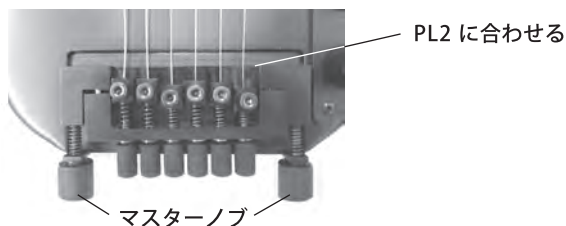


- 6-2. 5弦Aが合ったら次に4弦Dを合わせますが以後は全てファインチューニングノブであわせます。以下同様3G, 2B, 1E弦を合わせます。
- 6-3. 最後に6弦のEチューニングを行います。
- 6-4. 再度5弦から1弦と6弦のファインチューニングを行って終了です。以後全体的にチューニングが高いまたは低い場合は、マスターノブで調整後ファインチューニングノブで再調整して下さい。

7 弦ユニット、ネック、ボディの分離の仕方

(専用ハードケースに収め持ち運ぶ時)

- 7-1. マスターノブを回しパラレルライン2 (PL2) 付近にテールピースを移動します。1弦がゆるくなった時を目安としてください。(1弦が最もテンションが強い)



- 7-2. ヘッドノブを回し、ヘッドをはずし、次にテールピースAをはずします。これで弦ユニットは完全に分離されます。



- 7-3. 次にネックジョイントボルト2個を緩めてネックをボディからはずします。以上で3分割されました。

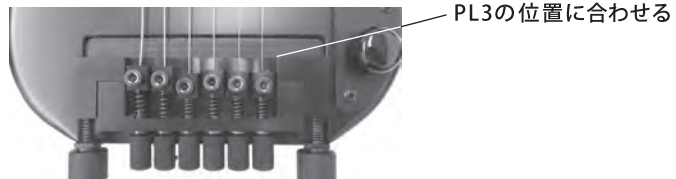


8 弦交換の方法

必要工具：ラジオペンチ、ニッパー（例として2弦を交換します）

8-1. 弦の取り外し

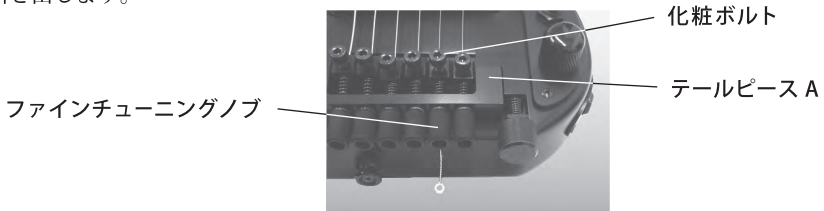
- 1) 2個のマスターストップを回しパラレルライン (PL) のフロントから3番目 (PL3) のラインにテールピースBを合わせます。



- 2) 交換する弦のヘッド側弦固定M3ボルトを緩め、弦をヘッドから抜きます。
(この場合、弦が丸まって引き出しにくい場合は、ラジオペンチなどで弦をまっすぐになるように調整して下さい)



- 3) 次にテールピースAの弦固定用化粧ボルトを緩め、ファインチューニングノブ側から弦を引き出します。



8-2. 弦の装着

弦09-42 (推奨) を用意 (本ギターは出荷時09-42弦がセットされています。
最大10-46程度まで使用可能ですが、それ以上太い弦は使用しないでください)

- 1) テールピースAのファインチューニングノブ側から弦を入れます。



- 2) ヘッドに弦を挿入しますが、挿入しにくい場合はヘッドを一旦ネックから取り外してから弦を挿入し、再びネックに戻してください。



- 3) ヘッド側の弦を軽く引っ張りながら、弦固定ボルトに弦を巻きつけてM3六角レンチでボルトを締めます。この場合、弦はスプリングワッシャーと弦固定ボルトの頭との間に入れてください。



- 4) ニッパーで不要の弦を出来るだけ短くカットします。(長く残した場合、弦を指に突き刺さし怪我をする場合がありますのでご注意ください。)

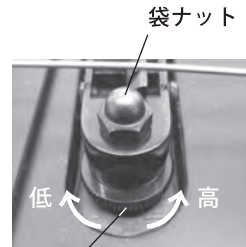


- 5) 弦のたるみがない状態までマスターノブを少し回し、弦固定用化粧ボルトを締めます。この時、あまり強く締める必要はなく指で回せる程度に軽く締めます。これは弦ユニットをボディからはずした時、弦がテールピースAから抜けないようにするためのものです。以上で弦の装着は完了です。

9 ギターの各部調整方法

9-1. 弦高の調整

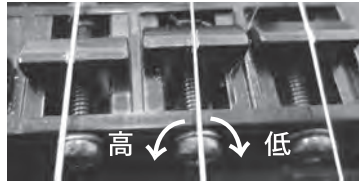
工場出荷時の弦高設定は1弦側約 $1.6\text{ mm} + \alpha$ 、6弦側約 $1.9\text{ mm} + \alpha$ ですが更に調整したい場合は、ブリッジの袋ナットを緩めてからブリッジの調整用丸ナットを指などで回し調整して下さい。ナットを時計回りに回すと弦高は低いほうへ、また反時計回りに回すと高いほうに調整可能です。調整終了後は、袋ナットを締めて完了です。(参考) 弦高調整用として1円玉(1.5 mm)、500円玉(1.8 mm)が目安として使えます。



弦高調整用丸ナット

9-2. オクターブ調整

オクターブ調整は、開放弦と12フレットを押さえた時、同じチューニングとなるように調整することです。ギター用チューナーを見ながらブリッジのそれぞれの調整用ねじをテールピース側からプラスドライバーを回して調整します。ドライバーを時計方向に回すと低い音程に、反時計方向に回すと高い音程に調節できます。



9-3. ピックアップ高さの調整

フロントピックアップ又はリアピックアップは、プラスドライバーでピックアップの両側のねじを調整することにより、ピックアップを高くも低くも調整できます。ドライバーを時計方向に回すとピックアップは高くなり、反時計方向に回すと低くなります。



9-4. ネックのそりの調整

トラスロッドの調整はかなり熟練を要するため、自信のない方は、専門家の方にお願ひしてください。

順ぞり方向に持って行くには、ギターを正面にし、スポークホイールナットを付属の専用レンチで反時計方向に回してください。回す角度は一度に大きく回さないでください。せいぜい5~10度程度づつすこしづつ回しながら調整して下さい。逆ぞり方向に持って行くには、スポークホイールナットを時計方向に同様に回し調整して下さい。



10 製品仕様

- ボディ : アッシュ
- ネック : メイプル
- 指板 : ローズウッド
- フレット数 : 23フレット (0フレットを含む)
- ネックスケール : 24インチ (609.6mm)
- 全長 : 755mm (突起部含む)
- アジャスタブルトラスロッド : スポークホイールナットタイプ
- ピックアップ : シングル×2 または ハムバッカー×2
- ブリッジ : ゴトーGE-103B
- コントロール : 1ボリューム、1トーン、3 wayトグルセレクタ
- フィニッシュ : つや消しブラック
- デタッチャブルチューナー : SGTオリジナル (PAT.PEND.2012-157323)
- エンブレム : アバロンインレイ

11 オーダー No.

- SGT-3DPEG01CH ハードケース付、ハムバッカー
- SGT-3DPEG01CS ハードケース付、シングルコイル
- SGT-3DPEG01NH ハードケース無、ハムバッカー * 1
- SGT-3DPEG01NS ハードケース無、シングルコイル * 2
- SGT-3DPEG02HC ハードケースのみ

* 1、* 2 ハードケース無の場合は、ソフトケースもありません。
ソフトカバーのみ付属します。



株式会社 **イスジ-テクノロジーズ**

〒245-0051 横浜市戸塚区名瀬町553

名瀬553ビル3F

TEL 045-443-8601 FAX 045-443-8608

E-mail: sales@sgtech.jp URL: http://sgtech.jp